

4 日中の過ごし方について

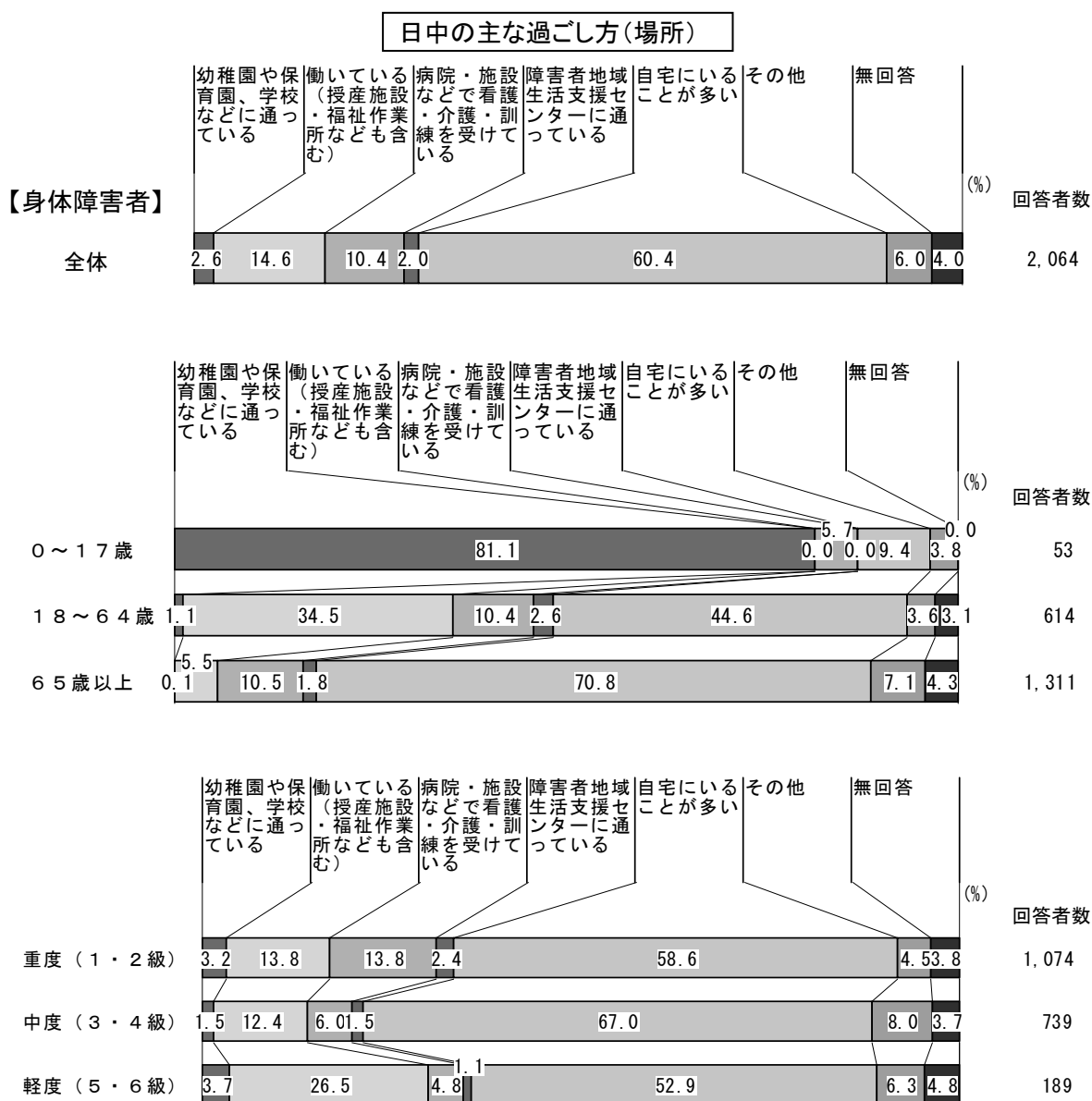
(1) 日中の主な過ごし方（場所）

日中の主な過ごし方は、身体障害者では「自宅にすることが多い」(60.4%)、知的障害者では「働いている」(36.3%)、精神障害者では「自宅で静養中である」(49.2%)がそれぞれ最も多くなっている。

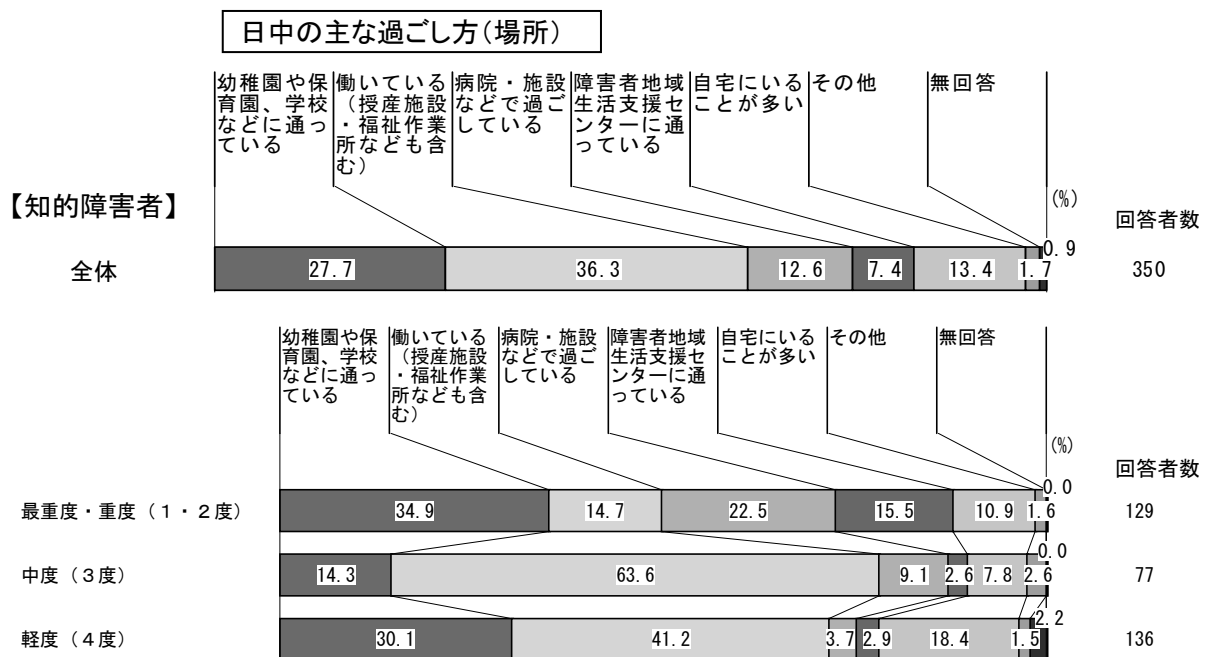
身体障害者では「自宅にすることが多い」と回答した人が 60.4%と最も多く、次いで「働いている(授産施設、福祉作業所なども含む)」が 14.6%で続いている。

年齢別にみると、0～17 歳では、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 81.1%、18～64 歳では、「働いている」が 34.5%、「自宅にすることが多い」が 44.6%である。65 歳以上では「自宅にすることが多い」が 70.8%である。

障害の程度別でみると、軽度(5・6級)では、「働いている」が 26.5%と多くなっている。



知的障害者では、「働いている」人が 36.3%、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」人が 27.7%である。障害の程度別にみると、軽度(4度)では、「自宅にすることが多い」が 18.4%と多くなっている。



精神障害者では、「自宅で静養中である」人が 49.2%、「働いている」人が 17.7%、「病院・診療所のデイケアに通っている」人が 14.1%である。

